**現代の理論・社会フォーラム経済分析研究会**

**第４５回研究会のご案内**

トランプ関税でどうなる欧州経済

トランプ関税で世界経済は混乱しています。鉄鋼やアルミニウムなどへの追加関税をめぐり、EUは当初強く反発、報復関税の導入を示唆しましたが、その後、交渉に転じ7月27日に合意しました。相互関税は15%、EUは米国から約7500億ドル（約110兆円）のエネルギーを購入、6000億ドルの対米投資を行うというもので、EUとしては最悪の事態を回避することができました。

しかし、欧州諸国はウクライナ戦争の長期化に伴うエネルギー価格の高止まりやインフレに直面し、経済は減速が懸念されています。加えてウクライナ支援をめぐり米欧間に齟齬があり、欧州各国は軍事費拡大が迫られるなど、欧州経済の先行きは依然として不透明です。

今回は欧州経済を長年研究されている田中素香氏に欧州経済の先行きを論じていただきます。

また、ビデオ通話ツールzoomによるオンラインでの参加も可能といたします。オンライン参加ご希望の方は経済分析研究会HPから申込みをお願いいたします。

**◎日時：１０月２５日（土）１４～１７時**

**◎場所：専修大学神田校舎1号館4階ゼミ42教室**

**◎講師：田中素香氏（東北大学名誉教授）**

**◎資料代：1000円（会員は無料です）**

|  |
| --- |
| **田中 素香氏のプロフィール**  1945年生まれ。東北大学名誉教授。ヨーロッパ経済論、国際金融論専攻。経済学博士（九州大学）。東北大学経済学部助教授、教授を歴任。1977～1979年西ドイツ・ケルン大学付属経済政策研究所、1996年EUI（ヨーロッパ大学院、フィレンツェ）で客員研究員。2002～03年一橋大学大学院経済研究所教授を経て2004年中央大学経済学部教授、15年中央大学経済研究所客員研究員。日本国際経済学会会長、日本EU学会理事長を歴任。著書に『拡大するユーロ経済圏』（日本経済新聞出版社、2007年）、『ユーロ　危機の中の統一通貨』（岩波新書、2010年）、『ユーロ危機とギリシャ反乱』（岩波新書、2016年）、『現代ヨーロッパ経済（第6版）』（有斐閣、2022年、共著）など多数。 |

お問い合わせは現代の理論・社会フォーラム事務局

℡03-3262-8505あるいは

E-mail:nc@keizaiken.sakura.ne.jp まで